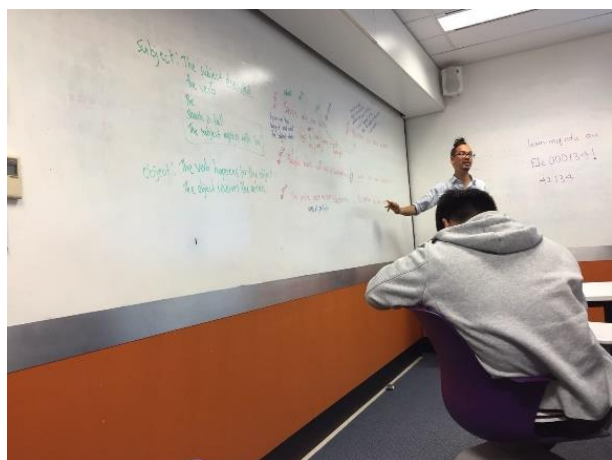




## 平成30年度グローバル化対応教員養成事業「国外大学プログラム」に参加してきました。英語科 林ちひろ

◇ 国外大学プログラム 7月29日(日)～8月25日(土) 28日間

オーストラリアシドニー北東部に位置するマッコリー大学において、研修が行われました。午前中は英語力向上講座を受講し、午後はTESOLの授業や授業参観を通じて英語教授法についての知識を深めました。また2度の学校訪問を通じて、オーストラリアの現状や日本との差異について学ぶことができました。

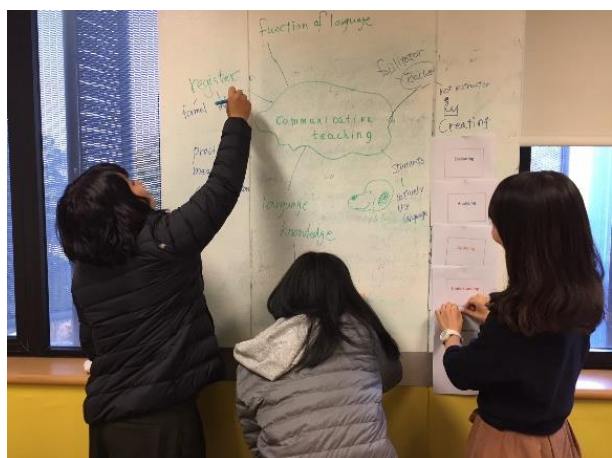


←英語力向上講座の様子です。

壁一面がホワイトボードの役割を果たしていました。

ディスカッションやプレゼンテーションの際、非常に便利で、実際にこの壁を活用してプレゼンテーションを行いました。

この授業では、韓国や中国、アラブ首長国連邦などさまざまな国からの生徒が在籍しており、文化の違いについても学ぶことができました。



←英語教授法の授業です。

様々な教授法の長所・短所について考えました。

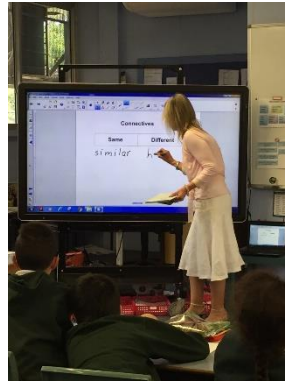
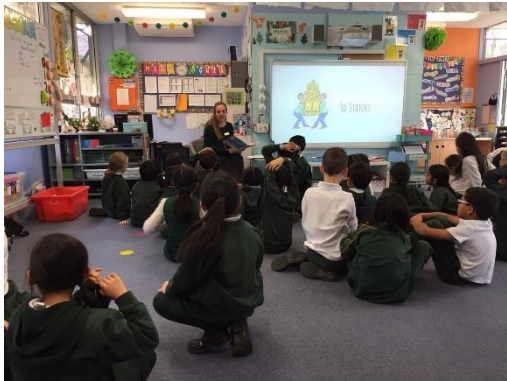
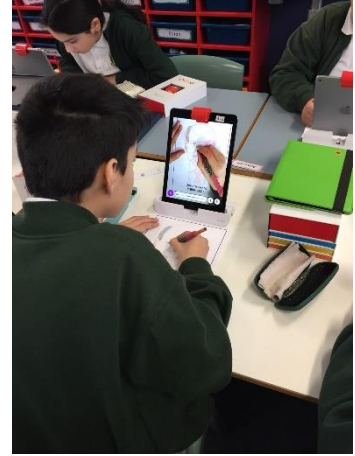
また最終週にはそれぞれの校種の生徒を想定し、マイクロティーチングも行いました。



←学部の授業を聴講しました。

ほとんどの学生がPCを持ち込み、授業を受けていました。発言も活発に行われていました。





### 学校訪問

1クラス当たりの生徒数は20人程度でした。また ITC を効果的に活用していました



小学校教員2名、中学校教員4名、高校教員2名の計8人で参加しました。校種間の交流もでき、非常によい研修となりました。

This study tour brought me a good opportunity to use English and learn about Australian cultures. Basically, we learned English at the English Language Center attached to Macquarie University. We also had a chance to visit primary and high schools. The class I observed made me think about the way in which so called content-based methods should be conducted. In other words, I have realized the importance of what to teach and how to teach in English classes. I would like to share what I learned in Australia with colleagues and make our classes better.

